

平成23年度第1回 国土交通省航空局 入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成23年 6月 6日(月) 中央合同庁舎第2号館 国土交通省共用会議室 2A	
委員	委員長 浅野 正一郎(国立情報学研究所教授) 委員 廣渡 鉄(廣渡法律事務所 弁護士) 委員 高田 和幸(東京電機大学理工学部准教授)	
審議対象期間	平成22年10月 1日～平成23年 3月31日	
工事	抽出案件	1件
	一般競争	1件
	公募型指名競争	0件(対象案件なし)
	通常指名競争	0件(対象案件なし)
	随意契約	0件(対象案件なし)
建設コンサルタント 業務等	1件	
役務及び物品	1件	
地方官署 工事・一般競争	0件	
合計	3件	
委員からの意見 ・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による 意見の具申又は 勧告の内容	なし	

(別紙)

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回 答
<p>[工事] 一般競争（政府調達に関する協定適用外） 【評価用航空交通流管理システム （ATFM）等設置その他工事】</p> <p>○入札公告は2月8日という年度末になった理由はなにか。余裕を持ってすれば一者応札を避けられたのではないか</p> <p>○技術者に求める資格について、必要ではない資格を求めているか不断に見直すことにより、より多くの者が参加出来るのではないか。</p>	<p>○設計や現地との調整により、結果としてこの時期の入札となったもの。</p> <p>○技術者要件については全体的に見直しをさせていただきます。</p>
<p>[建設コンサルタント業務等] 一般競争 【小型コンテナを活用した中部国際空港の 国際物流機能拡充調査・検討業務】</p> <p>○中部国際空港を選定した理由は何か。</p> <p>○製作された小型コンテナは汎用性があるものとして開発されたものか。</p>	<p>○既存の貨物コンテナでは非効率である狭い貨物スペースの小型機での調査・検討であり、機材の小型化が進み小型機での国際貨物の取り扱いが多い中部国際空港を、例として選定したもの。</p> <p>○制作された小型コンテナは、航空物流業者のみならず、通関上の問題やコンテナの載せ換え作業なども反映して開発されており、汎用性があるものです。</p>

意見・質問	回 答
<p>[役務及び物品] 一般競争 【飛行情報管理処理システム一式の製造及び調整その1】</p> <p>○既存のシステムを開発した会社が入札に関して有利になることはないのか。</p>	<p>○今回発注したシステムは新たに構築するシステムであり、既存システムを開発した会社はノウハウを持っているものの必ずしも有利とは考えていない。</p>